

## 予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

## 事業名 有機転換推進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産園芸課 ぎふ清流GAP推進係 電話番号：058-272-1111(内4116)

E-mail：c11423@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 300 千円 (前年度予算額： 0 千円)

## &lt;財源内訳&gt;

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	300	300	0	0	0	0	0	0	0
決定額									

## 2 要 求 内 容

## (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

カーボンニュートラル等の環境負荷軽減に対応した持続可能な農業を実現するため、有機農業の生産拡大が重要となっているが、有機農業は生産から販売先の確保まで課題が多く、新たに取り組むためのハードルが高い。

そのため、新たに有機農業を始める農業者に対する支援を行い、有機農業の生産拡大を推進する。

## (2) 事業内容

新たに有機農業を開始する農業者に対し、有機農業の生産を開始する農地面積に応じて支援する。

補助対象：①有機農業に取り組む新規就農者

②慣行栽培から有機農業への転換を図る農業者

補助単価：2万円/10a (初年度のみ)

### (3) 県負担・補助率の考え方

国10/10

### (4) 類似事業の有無

有（環境保全型農業直接支払交付金）

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	300	新たに有機農業を始める農業者に対する支援
合計	300	

## 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略
- ・岐阜県SDGs未来都市計画
- ・ぎふ農業・農村基本計画  
第6章（2）安心して身近な「ぎふの食」づくり
- ・岐阜県有機農業推進計画
- ・岐阜県みどりの食料システム推進計画

### (2) 国・他県の状況

- ・みどりの食料システム戦略で有機農業の高い取組目標が設定  
2050年までに耕地面積に占める有機農業取組面積割合を25%（100万ha）に拡大
- ・有機農業の推進に関する基本的な方針  
2030年度目標：有機農業の取組面積を63千haに拡大

### (3) 後年度の財政負担

- ・全額国庫負担のため、財政負担なし

### (4) 事業主体及びその妥当性

- ・事業主体：市町村
- ・みどりの食料システム実現に向けた取組として、妥当

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

カーボンニュートラル等の環境負荷軽減に対応した持続可能な農業の実現に向け、県内の有機農業者が増加し、取組面積が拡大する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R12)	達成率
①有機農業 の取組面積	97ha	集計中	124ha	133ha	190ha	

○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和3年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

▪ <b>事業の必要性</b> (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価) 3	みどりの食料システム戦略の実現に向け、今後、加速的に有機農業を推進する必要があるため
▪ <b>事業の有効性</b> (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	本事業の実施により、確実に有機農業取組面積の増加に寄与する。
▪ <b>事業の効率性</b> (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価) 1	事業実施主体である市町村と県で連携の上、効率的に事業を実施している。

### (今後の課題)

▪ <b>事業が直面する課題や改善が必要な事項</b> 国事業の動向を見ながら、国事業にはない部分を県事業で細やかに対応する。
--

### (次年度の方向性)

▪ <b>継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</b> みどりの食料システム戦略の策定を受け、加速的に有機農業を推進していく必要があるため、市町村推進体制を整備し、国事業を積極的に活用しながら、有機農業の推進を図る。
--